を 育 る た め

注

な 廹

うぶ心 < 心

平成20年 5月 2日発行 阿蘇市立碧水小学校 文責 主な記事:新年度にあたって 新 入学式の様子、歓迎 PTA新役員紹介 第1号 麻生廣文 新しい先生 歓迎遠足 雑巾お礼 授業参観 安全指導員紹介

いの

ただいた言葉がありました。

努力をしても必ず成功するとは限らないが、

成

功

L

た

人は

卒業式の校長式辞の中に、

次のような話があった。」

と紹介.

L Ť 鍛

L

ょ お 願い も 3 ま す 地域と ともに歩む 碧水小

なく 育は、 向き、

なり

ま

うす。「

是は是

非は非」このことを

しっ

かり伝える中

神保将治先生

しよききぎ

町阿

立蘇

小な

十四三年

まろ

子どもは前に足を出さざるを得

後ろ姿の教育や背中押し

の教

門

同じ方向を見ることになり、

み

あっ

て信頼関係を築くのがまず一

步。 緒

たら、

次

の

歩は、

後ろ姿や背中押し

で子どもたちと一

ات

歩を踏み出

すこ

が

でき

たら

L١

なと

思っ

て

いる

この

頃で

す

んな言葉もあります。

前から手を引っ

張ると、

視線は子どもの方に

同じ方向をみつめること」

三宅千恵先生

古閑陽子先生

子どもは足を突っ

張りますが、

愛とはみつめあうことではなく、

年度 の 出 発に しあたっ 7 はじ 校長 め の 麻生 步

担任

主な校務分掌

前

任校等

ょ 兀 月

3

お

され、原

b

ま

d

人の先生

が就任されま.

た。

こ紹

介

ます。

の定期異動で新し

新

あります。 とや態度 されていた区長様や学校評議員様から、 はじめ た姿を大変ほめていただきました。 た 入学式のあと、 が、 もよろしくお願いします。 日夜頑張っている精鋭の先生方のご指導のもとでの事でも の の立派さでした。 新し 步 い学年になり、 が踏み出せたことを嬉しく思ったことでした。 池邉教育委員長様とお話しする中に、「 子どもに恵まれまして・・・ どの学年の子どもたちもすばら ∜から、入学式の子どもたちの成長本校や阿蘇中学校の入学式に参加 号令なしによく礼ができるこ とは申し ある学校 文 ま L١

う。「 は違っ の出会 毎日 には、 けて 能性 です。 いが、 で、 進 ところで、 の 級は、 後ろ姿の教育や背中を押す教育の を過ごす子どもたち。 いる私の気持ちのベースになる言葉でもあります。 自分探しの旅」という言葉がありますが、 これは、 たっ の いを期待しています。 自分の可能性に挑戦し、 未来と自分は変えられる。」この言葉も気に入っている言葉 挑戦」 必ず努力した人であることは間違いない。・ いろ はじめの一 新しい自分との出会いの一歩でもあります。 少し話が変わるのですが、「過去と他人は変えられな という言葉をこの二十年以上、子どもたちに いろな機会に語り込めたらいいなと思って カウンセラー がよく引用する言葉なのです 步 そんな子どもたちに、 を踏み出す子どもたちもいることでしょ 友達や先生方との出会いでこれまでと 新しい自分、まだ眠っている自分と 大切さを感じています。 本校の先生方全 旅に発つ気持ちで 子どもたち 卒業や進学 が、 贈り ま す。 続 員 可



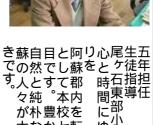
1をおらまた ま楽会れすお十あ森別お す。しいた 。世年れ中支ぞ みで皆大話ぶば央援ら



にきさ人にり苦小教学 しるんになにあ学 てのとなりまり校



が朴豊校を ゆ小 大なか七転 ۲ 好阿な校々



航先生 河内



願う頑と私正熊生 ろま 育 しず生ー く [°]懸年 学 部 おど命生 卒

井野里美先生

い頑も場初ずいで、 で、この宮 にいっぱとます。 いたいまます。 にいまます。 にいまます。 にいまます。 給給 食食 心るるべか ^{船食センター} いでま学 でいず すど校 い職 思



荒木鉄成先生

桑原真理先生

ば渡

何中

ま頑り

す張柄元に 。りに気帰

くお願いします。 生生子生活の中で、 生生子でといい。 自身がある。 はまないで、 でいるとの 大学教育を でいるとの でいるとの でいるとの でいるとの でいるとの でいるとの でいるとの でいるとの でいるとの ま す すしつ成私の ——

- 1 -

碧水だより3月号NO.2

【平成20年度はじめの行事等から

 \pm

名

__ お そ 名 ら

道

後藤

時登

に者く頼は子仕なにさもきが草入り見んしはうの学ますのくきか中式 ますのヽこぉ - loo しら来思しがにで たれ賓いたえ co



歌述を 元「生お 席ん先 つべ児上気ドと祝いでの生次 、 ・ 童級よキ対いろき入にに 「会生くド面のいま場導、 迎広運は歌キし言ろしでか嶋 しい営、いドて葉なた。すれ田 ま世委歓まン、のあ。で先 て 大 生 し界員迎しの--後い へさのた。歌年 **'**さ に組兒 ' 生上つ ん言 をは級や をが葉

男笹森西靍竹高髙河甲江家年

女あ森宮寺竹髙髙草河惠石十



んの入場で、七先生に導 まし 導 がた。名九 れ の日 て 一水 年~

新

生

の

式

閐

を 吹

き

飛

ば

た

迎

遠

足

平

し組も

なお、(

書きは教職員です。

します。(紙面の都も「楽しくなけれるでいただけれる」十年度の平成二十年度の平成二十年度の

g。(紙面の都合で敬称を省略しましたことお詫びしまでいただければと思います。 一年間どうぞ宜し楽しくなければPTAじゃない」 くらいの気持成二十年度のPTAの役員さんが決まりました成二十年度PTA役員さんの紹介

宜気し

(持ちで)

願取车

いり度

立本

横山宮藤中内谷佐江穴年

渡山山松野中内瀧柿池十



1年2組 担任 嶋田佐由美先生 あおぞら 兒玉 美紀先生



1年1組 担任 三宅千恵先生

るたい 気と く将左た式話

発来の新やを

表な写一ゲ聞

でも宅村村上上して 田の 、 て

、出い 上へな荒荒小竹い佐 、4し木木野田た 中」・・・・音

なな兒宗復会 しし玉 活計

活計

きす。

竹田、

神

保

赤池

一ちくた。を です。大きく しな 食の変 なったら・・・になり たり日にら たいです。(1年生) まにとい 、楽



麓坊中からキャンプ場への山道

とれ気雨しキ に 予をたヤ今遠四歓 決で報心。ン年足月迎 定しで配地プはが十遠 したはし面場目あ八足まの「まの」的り日 しで曇し湿に地ま金 このでは、立ているとしている。 行のが具更った。日くち、合し坊 こ晴天やま中 歓

世界 (四月二十: 1: 本語 (四月二十: 本語 (四月二十: 1: 本語 (四月二十: 和語 (四月二十: 1: 本語 (四月二十: 和語 (四月二十: 1: 本語 (四月二十: 1: 本語 (四月二十: 1: 本語 (四月二十: 1: 本語 (四月二十: 1: 上北元南坊東蔵竹役西落学給保補文事監書副会水 健

名

化 記 ・務 会 厚 年食育導生局查計長長A 役

章高宮若宮井軽若岩荒 野宮本宮﨑澤木宮下木 恵美子 由龍賢達長恵真清富 紀紀司也英子理雄博

岡木

 \Box み















地域学校安全指導 おことになりました。 おことになりました。 を子どもたちの安全にお願いします。 ではしくお願いします。 を子どもたちの安全にお願いします。 が原ひのき会様 が原ひのきました。 が原がであいたがでありました。 が原がでありました。 がはました。 がはました。 がはました。 がはいただきました。 すはの安 と活十い ゚また



あおぞら学級:鯉のぼり作り

1年2組本読みは正しい姿勢で

田上)

野





1年1組小集団の話し合い

生A月一の総二年 授会十授 業が八業 風あ日 景り授観 ま業のし参様 た観子

— Р